

分かる快感!

Z会ナビ

算数

理科

▶歴史

地理

お題

県名と県庁所在地名が異なる 県があるのはなぜ?

がくしゅういんたいがく けいざいがくぶ 2011ねん にほんし
(学習院大学 経済学部 2011年 日本史)

「Z会ナビ」が

Webサイト

でも読めます!



Z会おとナビ新聞

検索

これまでの内容も掲載しています!

府や県などの地域の分け方は、明治時代の初めに明治新政府が行った、廃藩置県に始まります。県名と県庁所在地の都市名が異なる県がありますが、戊辰戦争の時に新政府側につかなかった藩の地域に置かれた県には、そのような傾向があると

いわれています。宮城県の県庁所在地は仙台です。この地の藩主であった[]氏は、反新政府の団体の中心人物でした。岩手県の盛岡の場合も同じです。この地の藩主であった[]氏の軍は、最後まで新政府軍に抗戦しました。

今回は、問題の答えというより問題文を読むという視点から掲載しました。学習院大学の日本史の問題文は長めのものが多く、いつもなかなか読み応えがあります。



イラスト：瑞木匠

地名から歴史が見えてくる

することで、「新しい時代の新しい国家」となるろうとしたのです。

新しい名前に影響を与えた出来事

江戸時代から明治時代が変わる際に起きた大きな戦いが戊辰戦争です。問題文では、この戦いで明治新政府側に属さなかった藩があった地域で、県名と県庁所在地名が異なる傾向があるといっています。たしかに、明治新政府の中心となった九州の各県や高知県、山口県ではすべ

て、県名と県庁所在地名が一致しています。問題文で取り上げられている仙台的伊達氏、盛岡の南部氏は、ともに反新政府の団体を作り、抗戦していました。この団体には東北地方の藩が多く参加しており、福島県や山形県で、当時の中心地であった会津や米沢が、県名からも県庁所在地からも外されているのも、同じ理由であると考えられています。

ただし、廃藩置県では3府302県もの府県が置かれていて、この後、何度も合併が繰り返されています。栃木県のように、栃木県と宇都宮県に分かれていたものを合併したことで、最終的に一致しなくなったという県もあります。問題文の説明は、必ずしもすべての県で通用する説明というわけではないようです。

しかし、地名の変化をたどってみるとその地域の歴史が見えてきそうでもおもしろいですね。みなさんのお住まいの地域には、どんな歴史があるのでしょうか。【Z会・河原井彩】

! 今回の教訓

私の地元では、鶴馬村+勝瀬村=鶴瀬村となりました。自分が住んでいる地域の地名がどのように変わってきたのか、調べてみましょう。



河原井彩さん 2007年にZ会入社。大学受験用の日本史、政治・経済の教材編集を担当。趣味は乗り物に乗ること。将来は猫と2人暮らし(希望)。新潟県生まれの埼玉県育ち。

古い分け方から新しい分け方へ

現在の都道府県や市町村のもととなっている地域の分け方は、問題文にもあるように、明治時代の初めに行われた廃藩置県に始まります。それまでは飛鳥・奈良時代に定められた古い国の名前や、それをもとにして江戸時代に定められた藩(大名が支配する地域の単位)が地域の名称・分け方として、使われていました。最近の市町村合併で、香川県さぬき市や徳島県阿波市といった名前の市が生まれましたが、これらは「讃岐国」「阿波国」といった古い国名をもとにしています。明治新政府は、廃藩置県によって古くからの地名を廃して、新しい分け方を